

# 「国際児」に対する日米の 見解

テイラーアン・美代子・ムーア

2015年の春学期

アドバイザー：

齋藤-アボット佳子教授

関根繁子教授

# 概要

- 研究の重要性
- 研究質問
- 研究背景
- 研究方法
- アンケート調査の結果
- 結論
- 参考文献
- 感謝の意

# 研究の重要性

---

- まず、私が日本人とアメリカ人のハーフだ。
- 岡山大学に留学した時、自分の混血のアイデンティティーを意識するようになった。
  - それは日本人の多くが日本は単一民族国家であると考えているからだと思う。
  - つまり、アメリカには混血の人は多くいるが、日本にはあまり多くないのが現状だ。
- 現代の日本は混血の人や国際児に対する考え方が変わって来ていると思う。

# 研究質問

---

1. 日本とアメリカでは国際児はどのような問題に遭遇するのか？
2. 日本とアメリカでは国際児をどのように見ているのか、またその要因は何か？

# 研究背景

---

1. 民族性と人種の定義
2. 日本とアメリカの多文化主義
3. 第二次世界大戦と社会的な名誉
4. 国際児と日本人のハーフの問題に遭遇すること
5. メディアでの多文化主義

# 民族性と人種の定義

---

## 民族性

- 「一定の文化的特徴を基準として他と区別される共同体」ということ  
(池田、2011)

## 人種

- 「人間を分類する用法の1つである」ということ  
(山田、2013)

# 日本とアメリカの多文化主義

日本人	98.5%
韓国人	0.5%
中国人	0.4%
その他	0.6%

(cia.gov, 2004)

- 日本の国勢調査では、民族ではなく国籍を問う。
- 日本に帰化している、あるいは日本で生まれ育っているが、多民族な背景を持つ日本人は、日本の国勢調査では民族的に「日本人」として考えられている

(Ministry of Justice Immigration Bureau, 2009)

白人	79.96%
黒人	12.85%
アジア人	4.43%
インド人	0.97%
大洋アジア人	0.18%
二つ以上	1.61%

- 「ヒスパニックのためのグループがない理由はアメリカの国勢調査はヒスパニックはどの人種や民族（白人、黒人、アジア人）構わないということで、アメリカの人口の15.5%ぐらいがヒスパニックだ。」

(cia.gov, 2004)

# 第二次世界大戦と 社会的な名誉

- 第二次世界大戦後 1950年頃
  - 「ジャパンオフォビア」や「ニッポンオフォビア」や「反日」などはよく使われた言葉だった。  
(エモット, 1993年)
- 反日のプロパガンダによって人間性を奪う
- 「日本という国とその国の人々は進化せず常に劣っている」 (ナバロー, 2000年)



Art: The Tokio Kid. Time Magazine, June 15, 1942.



# 国際児と日本人のハーフの 遭遇する問題

---

日系アメリカ人：日本人の先祖を持っている人

- コミュニティが複雑になってきているので、日本人とアメリカ人の国際児は日系のコミュニティにアイデンティティーを見いだすことが出来ない。
- 一世、二世、三世に対する混血と国際児  
(Kikumura Yano, 2008)
- “one drop rule” 混血の人はマイノリティーである。  
(Williams-Leon, Nakashima, 2001).

# 国際児と日本人のハーフの 遭遇する問題

- 日本語の「いじめ」は英語の「bullying」という言葉よりもより陰湿だと言えるかも。大抵、否定的な態度で、他の人に屈辱を与えるという意図がある。
- いじめは一般的に物理的、口頭的、心理学的、社会的なことだ。  
(Taki, 2003) (Kawagoe, nd)
- いじめからの差別的なことだ。

## 日本

- 「ハーフ」
- 「ダブル」
- 「間の子」

(Williams-Leon, Nakashima, 2001).

## アメリカ

- ハッパ
- ハワイからの「フラグメント」の意味言葉だ。

(Fulbeck, n.d.)

# 国際児と日本人のハーフの 遭遇する問題

---

- ステレオタイプ
  - 否定的なものとは意的なものがある
- 否定的なもの
  - 受け入れられるために同化することはずだ。
  - 純粋な日本人ではなくなるので、全く違う存在として見られる
  - 国際児が顔や姿が良く才能がある国際児だけがかっこよく見られる傾向がある。

(Shoji, 2013)

- 好意的なもの
  - 最近、ハーフの日本人が憧れられる。
  - 「ハーフは皆『かわいい』『バイリンガル』『お金持ち』と思っているあなた。」 (Haefelin, 2012)。

# 国際児と日本人のハーフの 遭遇する問題

- 日本人の性格を表現するよく使われるトップ10

1. 礼儀正しい
2. 時間を守る
3. 優しい
4. 真面目
5. 恭しい
6. 弱気
7. 頭がいい
8. グルーピング
9. フォールマルな
10. 清潔

(Gerhold, 2013).

- アメリカ人の性格を表現するよく使われるトップ10

1. 優しい
2. 心の広い
3. 真面目
4. 肥満
5. 外国の文化に興味がない
6. 信心深い
7. 楽観主義
8. うるさい
9. 贅沢な生活を好む
10. お金持ち

(Murray, 2010).

# メディアにおける多文化主義

- メディアが人のアイデンティティを形成することに影響する。
- メディアから流れるストーリーがシンボルや仮説を立てアイデンティティの根元になる。

(Kellner, 2011)



ダルビッシュ・有

1986年8月16日

日本人とイラン人

野球プレイヤー

日本とアメリカで有名

土屋・アンナ

1984年3月11日

日本人とポリッシュ人

モデル、女優、歌手

日本で有名

ルイス・ジェシー

1996年6月11日

日系

ジャニーズ

日本で有名

アポロ・オーノ

1982年5月22日

日系

オリンピックアスリート

アメリカで有名

# メディアにおける多文化主義



- 日本でミス・ユニバースの日本代表が選ばれた。
- 日本人とアフリカ系アメリカ人のハーフ。
- 問題だと考える人はまだ多くいる一方で、彼女が日本の代用として選ばれたことは、日本社会が変わってきている象徴。

# 研究方法

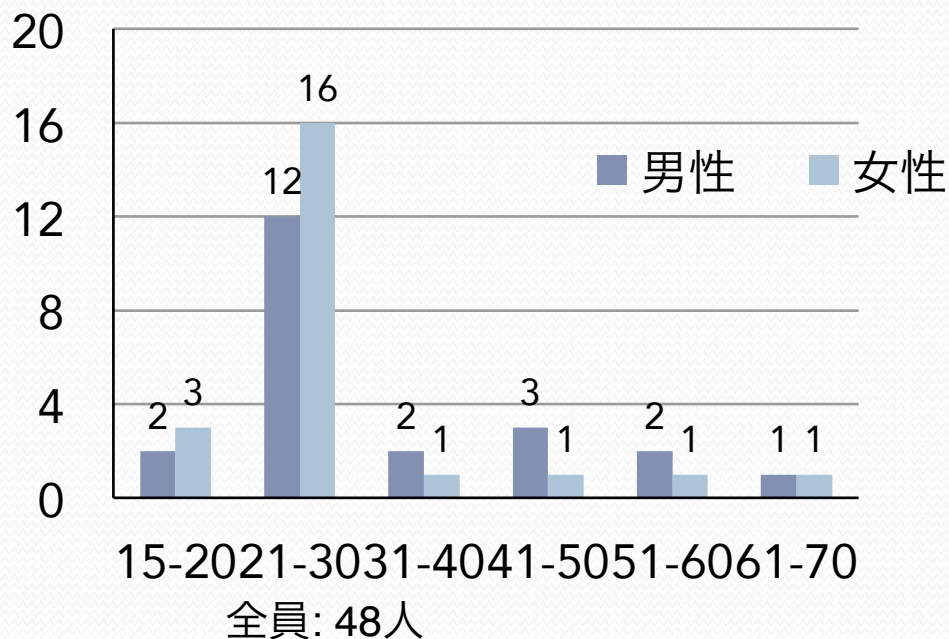
- 全員は106人
  - 日本人は58人
    - 女性：27人
    - 男性：31人
    - 年齢：18-65歳
  - アメリカ人は48人
    - 女性：25人
    - 男性：23人
    - 年齢：18-65歳

[英語のアンケート](#)

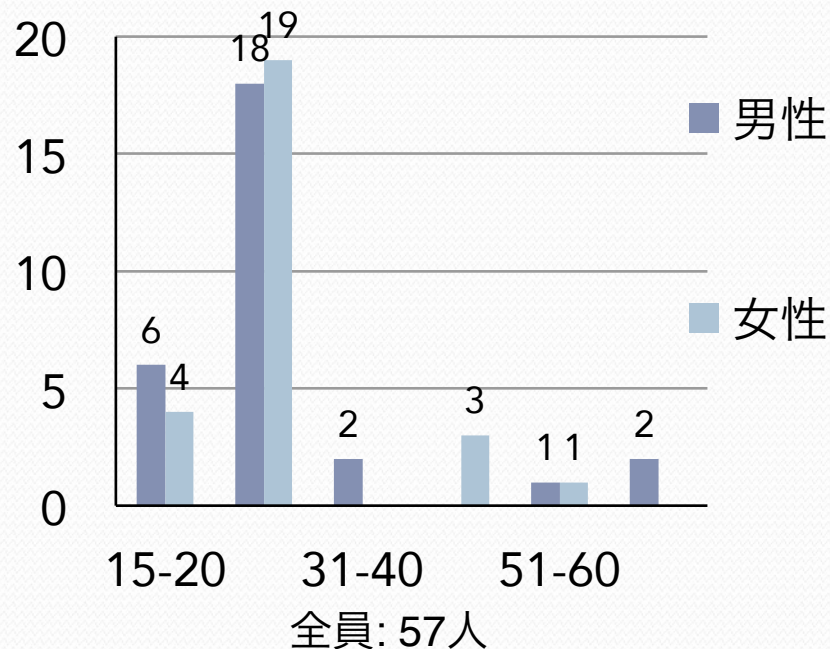
[日本語のアンケート](#)

# 背景データ：性別と年齢

## アメリカのアンケート



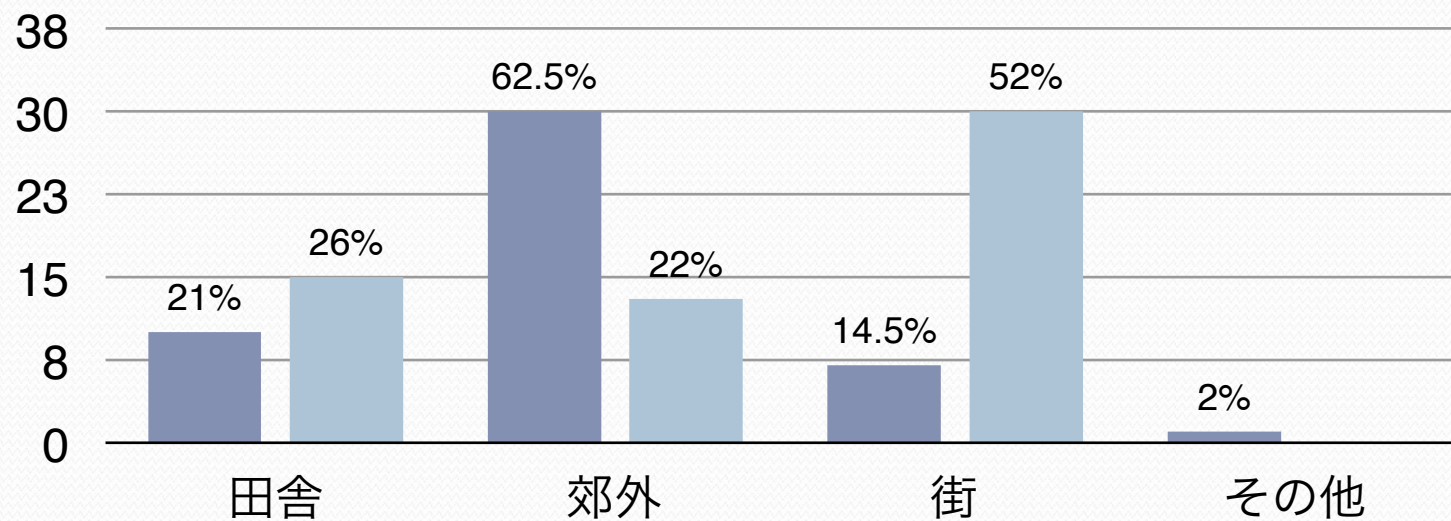
## 日本語のアンケート



様々な年齢をとった人はアンケートを答えて、様々な違う答えを分かった。



# 背景データ： どんな所に 住んでいるのか

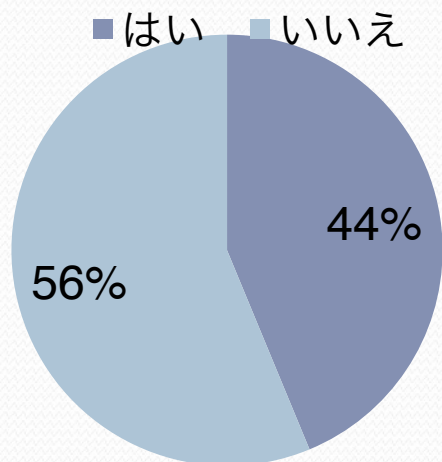


■ アメリカのアンケート ■ 日本のアンケート

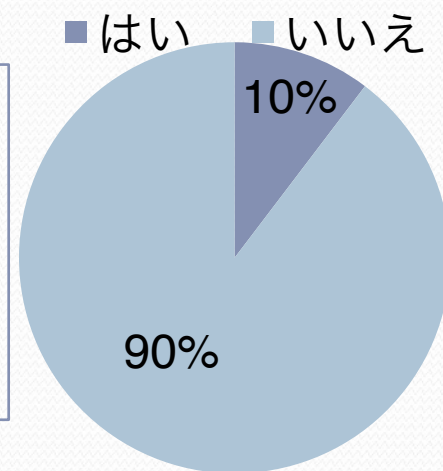
住む所によって、混血と民族について様々な意見を持っている。

# あなたは混血ですか？ あなたはどの民族に当てはまりますか？

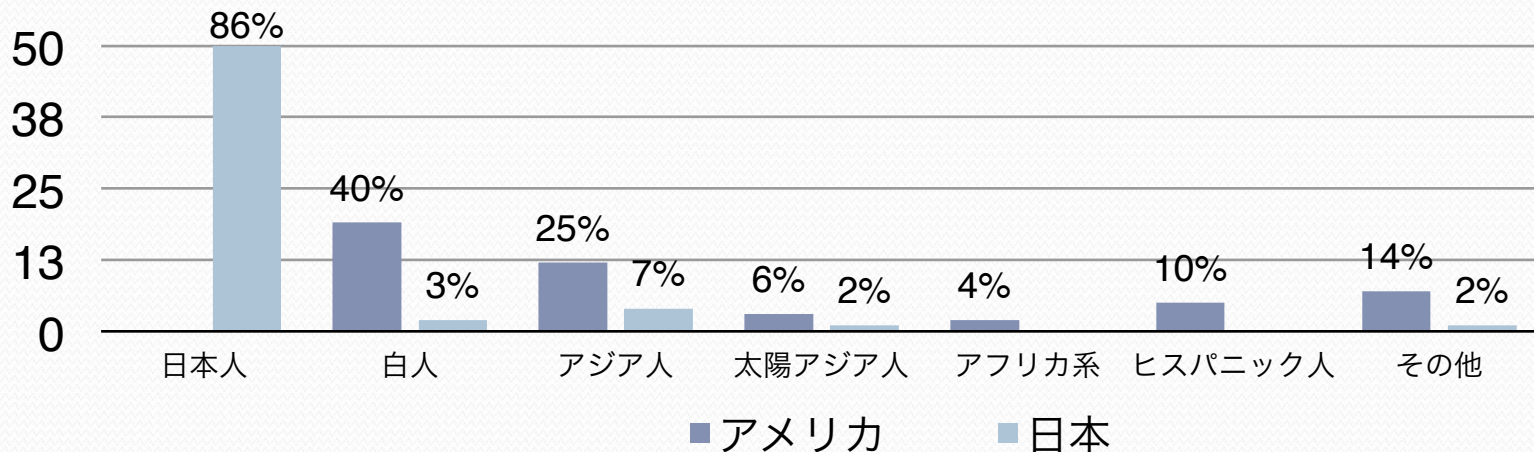
## アメリカ



## 日本



予想通り、調査に参加した日本人は、彼らを日本人だと定義する。しかし、アメリカ人へのアンケートで様々な混血と民族のアイデンティティーがあった。



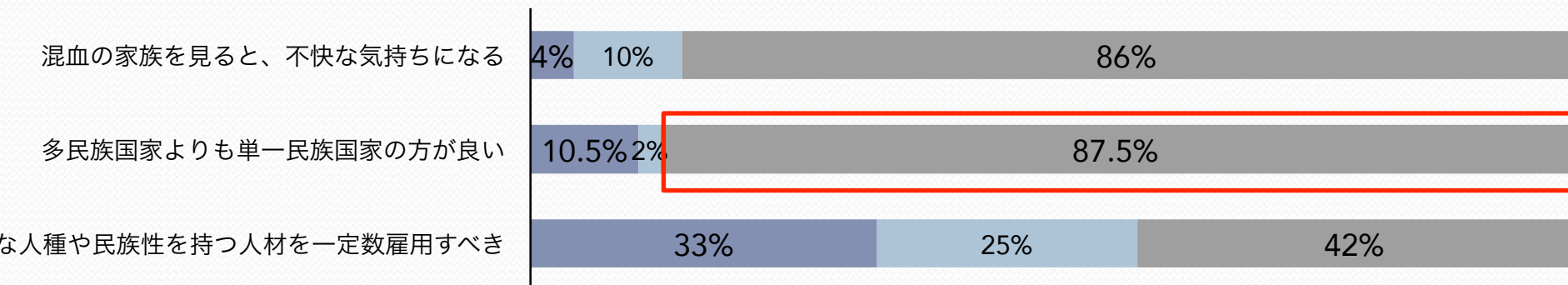
# 研究質問 1

---

日本とアメリカでは国際児はどのような問題に遭遇するのか？

# 差別

## アメリカ人

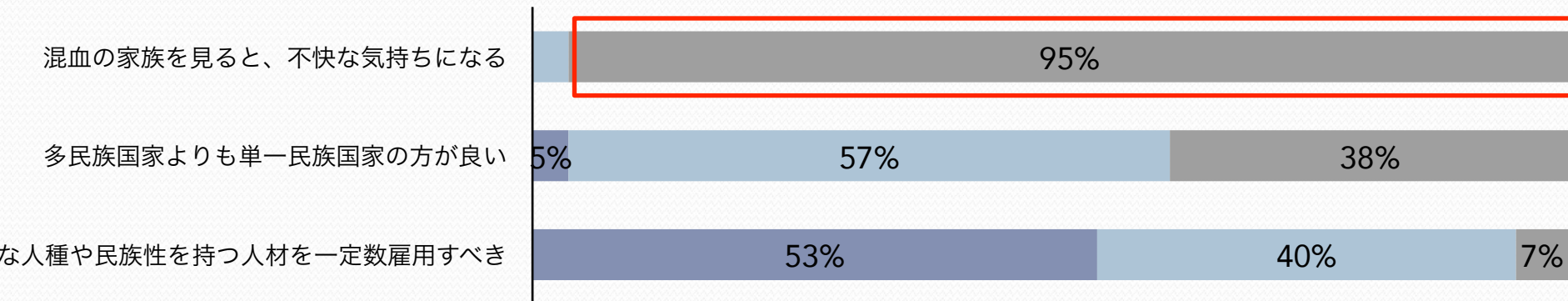


## 日本人

■ Agree

■ Neutral

■ Disagree

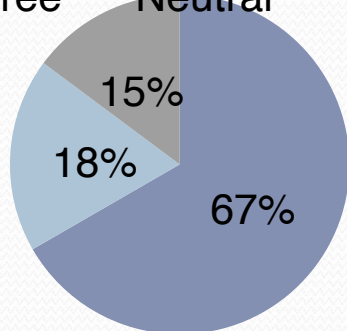


二つのアンケート調査に参加した人々は国際的な背景を持つ家族について、オープンな考え方を持っている。

# 差別

## 単一民族のアメリカ人

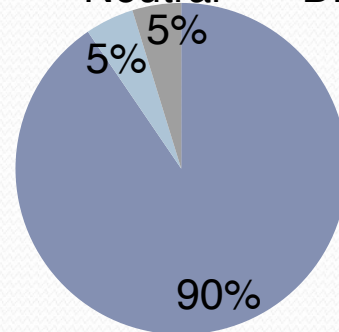
■ Agree ■ Neutral ■ Disagree



「他人は外見から私の人種、  
民族性を判断する。」

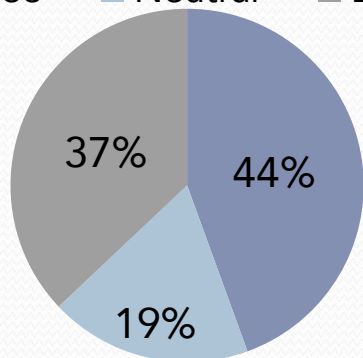
## 混血のアメリカ人

■ Agree ■ Neutral ■ Disagree



## 単一民族のアメリカ人

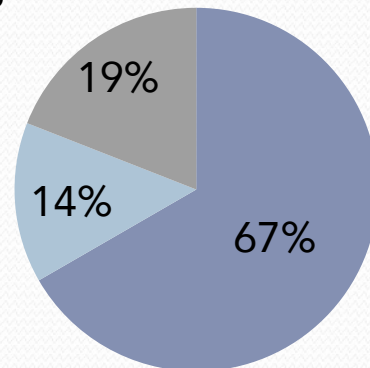
■ Agree ■ Neutral ■ Disagree



「他人から差別を受けたこと  
がある。」

## 混血のアメリカ人

■ Agree ■ Neutral ■ Disagree

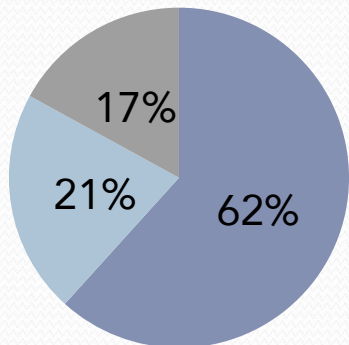


二つの質問で、単一民族より国際児の方がステレオタイプと差別を受けた。だが、両者とも、その大多数がステレオタイプと差別を感じていた。

# 差別

## 単一民族の日本人

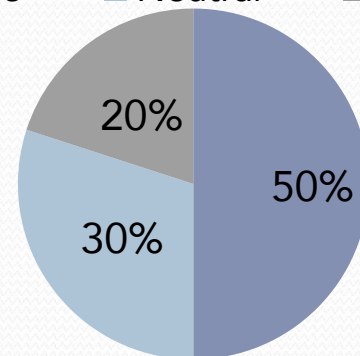
■ Agree ■ Neutral ■ Disagree



「他人は外見から私の人種、  
民族性を判断する。」

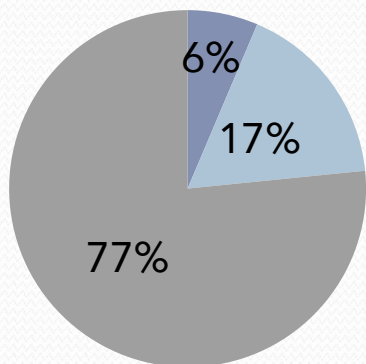
## 混血の日本人

■ Agree ■ Neutral ■ Disagree



## 単一民族の日本人

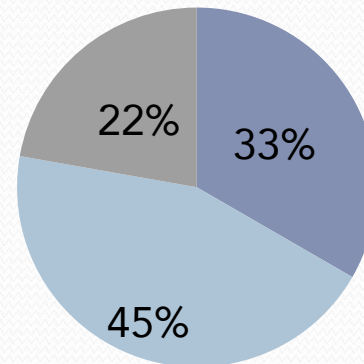
■ Agree ■ Neutral ■ Disagree



「他人から差別を受けたこと  
がある。」

## 混血の日本人

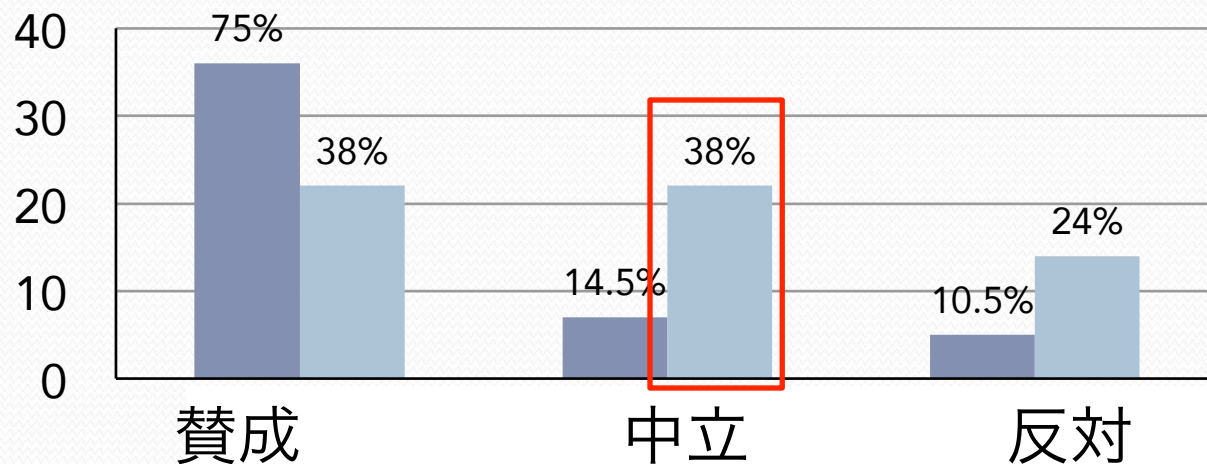
■ Agree ■ Neutral ■ Disagree



両者はステレオタイプを感じたが、単一民族の日本人が差別をされているとは思わなかった。

# 差別

多様な民族性と人種を持った人はいじめを受けやすいと思う。



アメリカ  
survey

日本

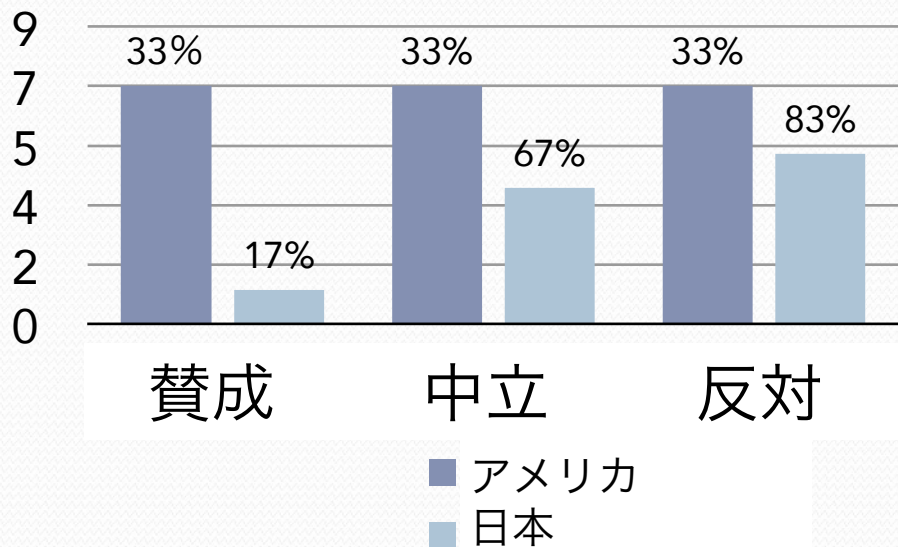
アンケートに参加した日本人は単一民族をアイデンティファイをしたのに、様々な人は「中立」を選んだ。（おそらく彼らにとって、民族などに関する個人的な経験が少ないためと考えられる）

# アイデンティティの問題

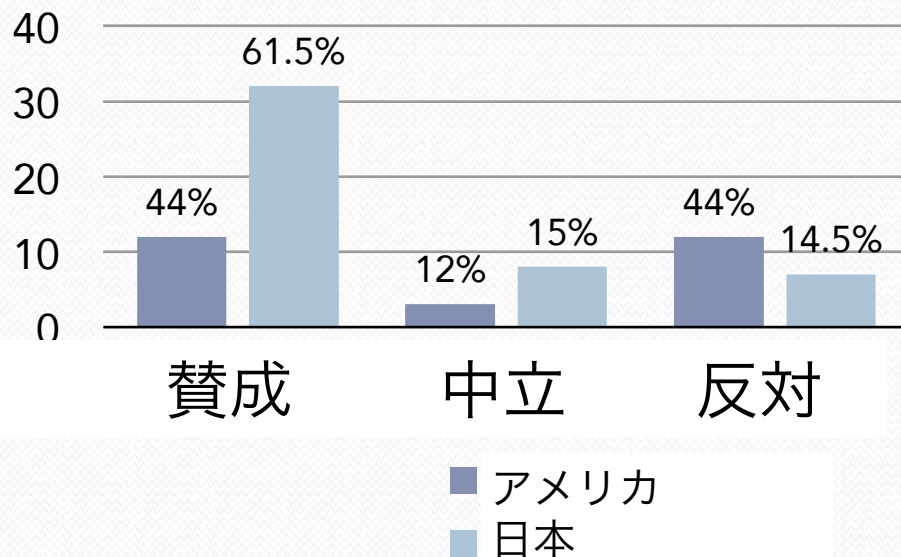
一つのアイデンティティを選ばなければならない気持ちがある。

私は現在アイデンティティに関する葛藤はない。

## 混血



## 単一民族



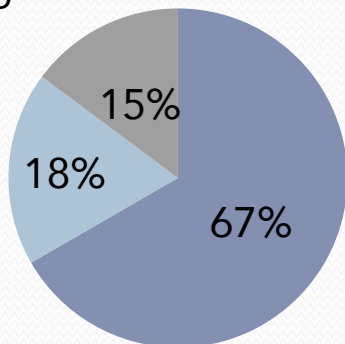
どちらのグループも、アイデンティティの問題に関して強く影響されていると感じてはいなかった。この場合、個人を人種的あるいは民族的に定義することである。



# アイデンティティーの問題

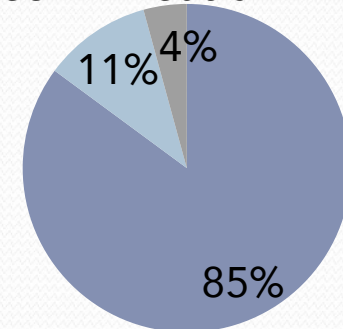
## 単一民族のアメリカ人

■ Agree ■ Neutral ■ Disagree



## 単一民族の日本人

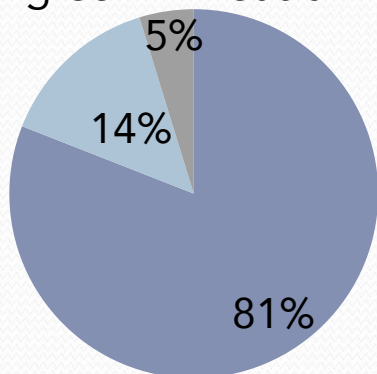
■ Agree ■ Neutral ■ Disagree



「自分の民族性と人種的アイデンティティーに誇りを持つことは重要」

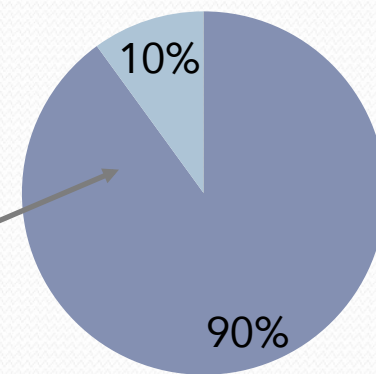
## 混血のアメリカ人

■ Agree ■ Neutral ■ Disagree



## 混血の日本人

■ Agree ■ Neutral ■ Disagree

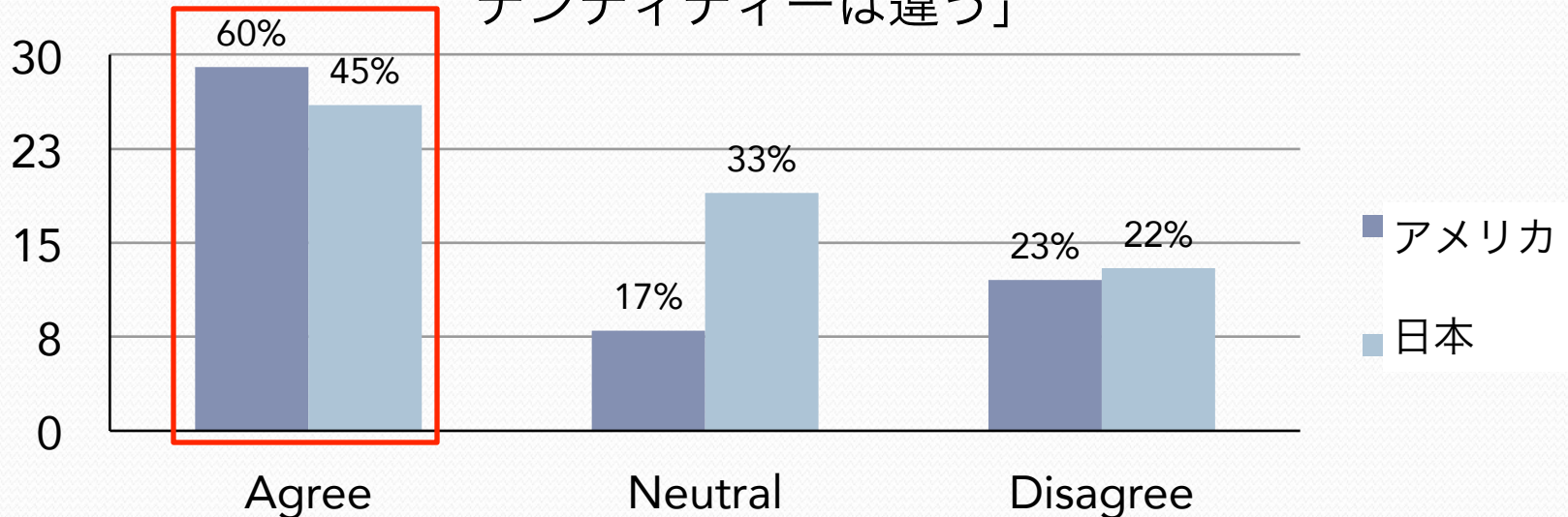


驚くべきことに、民族と人種のアイデンティティーに関して誇りを持つことが大切ではないの考える国際児の日本人がいなかった。

日本語と英語の両方の調査に参加した人の大多数は彼らの民族と人種のアイデンティティーに関して誇りを持つことが大切だと考えていると分かった。

# アイデンティティーの問題

「子供のころに感じた自分のアイデンティティーと今の自分お感じるアイデンティティーは違う」



## アメリカのアンケート

「大学に来た以来に自分のアイデンティティーの誇りは減少した。ステレオタイプが多いから疲れたになったのに、同化したいと思う。」  
(男性、21歳、混血)

「私は日本人のアイデンティティーが嫌いだったけど、大学院に行ってハワイで生まれた日本人に会った。その時から、その人の影響と自分は大人になったのは今ももう鏡を見てそんなに悪くないになった。」  
(女性、44歳、単一民族)

## 日本のアンケート

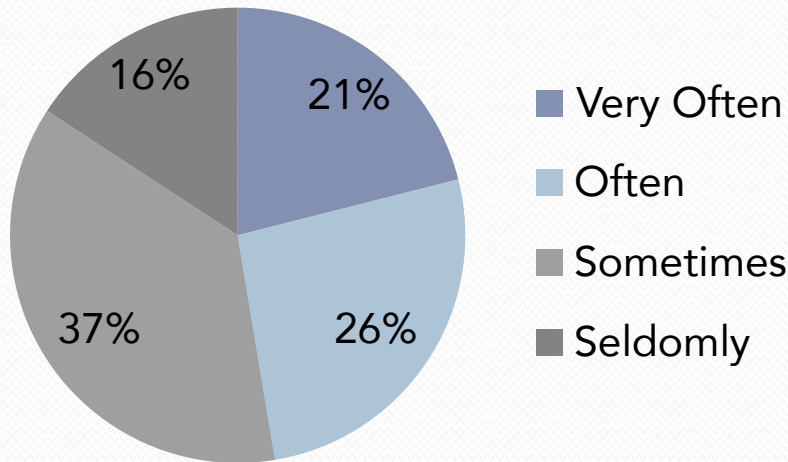
「日本とアメリカのハーフですが、アメリカの学校に行っていた時に「アジアに帰れ」と言われたことがある。でも日本にいる時は完全に外人と見られています。顔を見て、日本語を話せないと思われることが多いです。」  
(女性、27歳、混血)

「ひどい劣等感を持っていたが、自身や友人、また様々のものを目にし、自身の生き方も一つの形だと認められるようになった」  
(男性、30歳、単一民族)

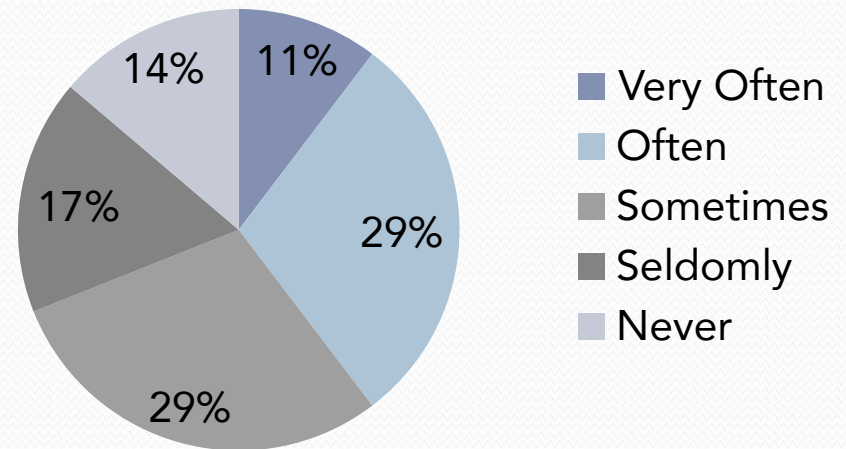
# アイデンティティの問題

あなたはこのアンケートに答える前に、自分の民族性と人種のアイデンティティについて考えたことがありますか？

アメリカ



日本



個人にまつわるアイデンティティの問題は、彼らがそれまでアイデンティティに関して考えたことがないことから起因していると考えられる。どちらの調査においても、大多数の人は「時々」という中立の回答をしていた。

# 研究質問 1 のまとめ

- 日本人はほとんど差別の問題について「中立」の考え方を持つと分かった。
- 人々は大抵民族と人種について誇りを持つことは大切だと思うと分かった。しかし、たくさんの人は差別とステレオタイプを受けた。
- アンケート調査に参加した人は「子供の頃感じた自分のアイデンティティーと今の自分を感じるアイデンティティーは違う」と感じた。
- 日本人よりアメリカ人はアンケート調査に参加する前、自分のアイデンティティーについて考えていた。

## 研究質問 2

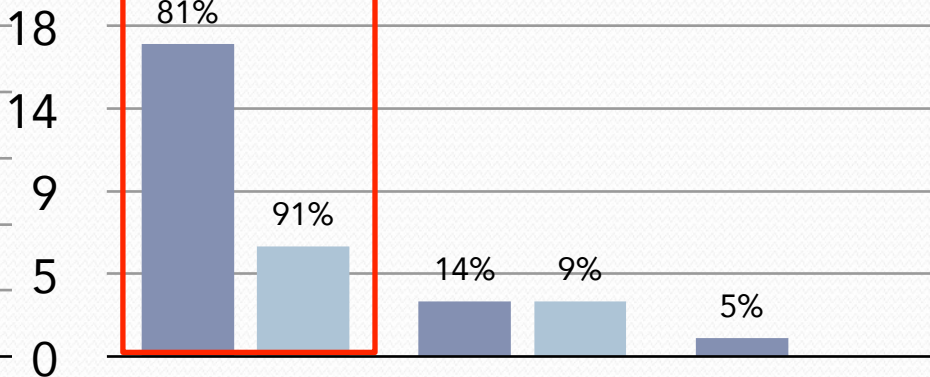
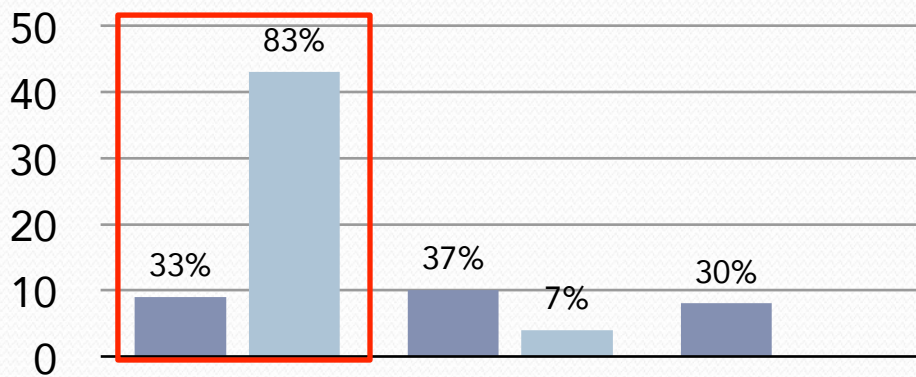
日本とアメリカでは国際児  
をどのように見ているの  
か、またその要因は何か？

# 認識

「多様な人種、民族に好意的な印象を持っている。」

単一民族として

混血として



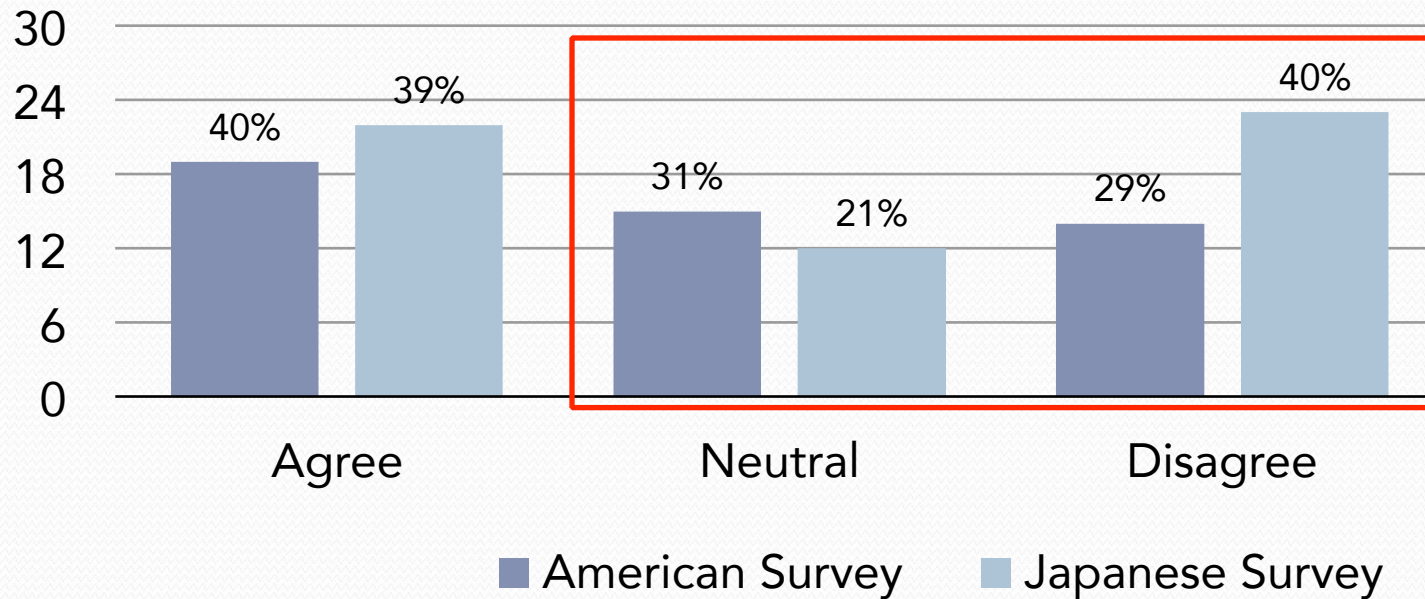
■ English Survey  
■ Japanese Survey

■ English Survey  
■ Japanese Survey

単一民族あるいは国際的な背景を持つ人々の両方は、彼らの国際児についての認識は、その民族的あるいは人種的な環境から前向きな影響を受けたと考えている。

# 認識

「混血の人は少数派だと思う。」

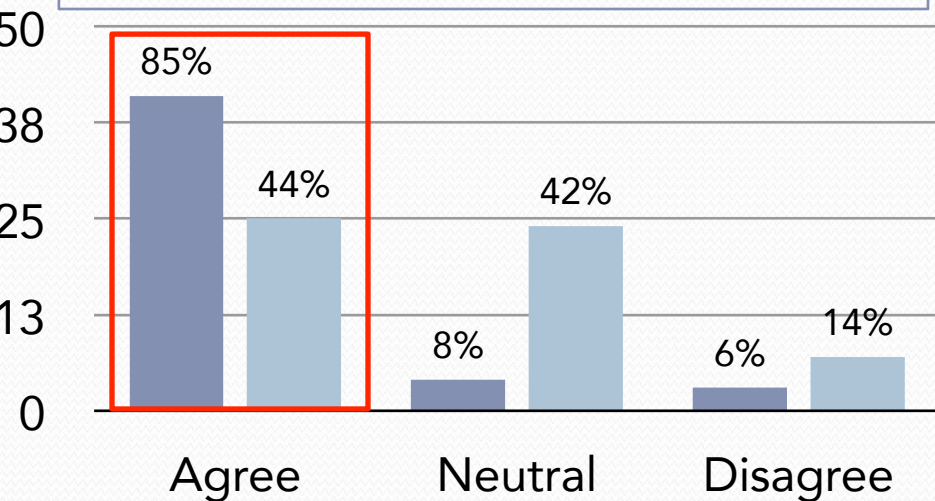


“One Drop Rule”は「混血の人は少数派だ」としますがたくさんの方はその考え方を反対する。

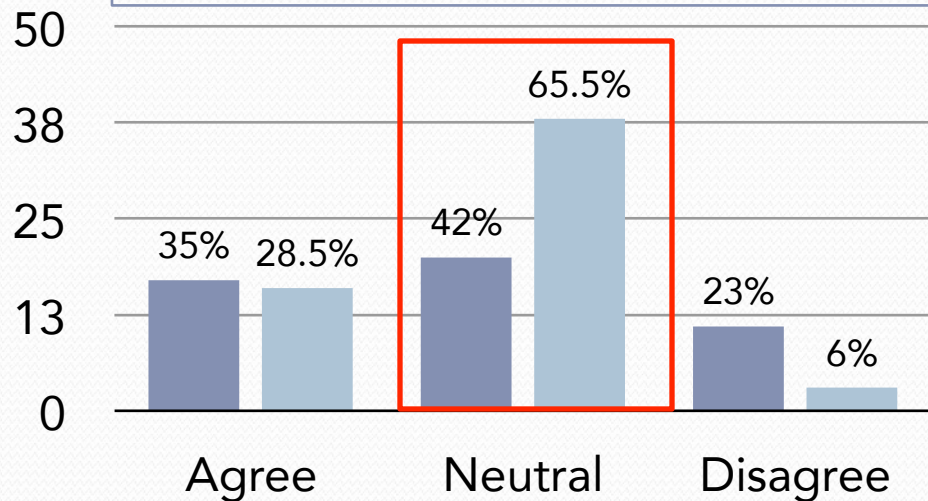
“One Drop Rule” (Williams-Leon, Nakashima, 2001)

# 認識

「メディアを通して混血の人を見ることは重要だと思う。」



「私は自分と同じような民族性と人種を持つ人を尊敬する。」



■ American Survey  
■ Japanese Survey

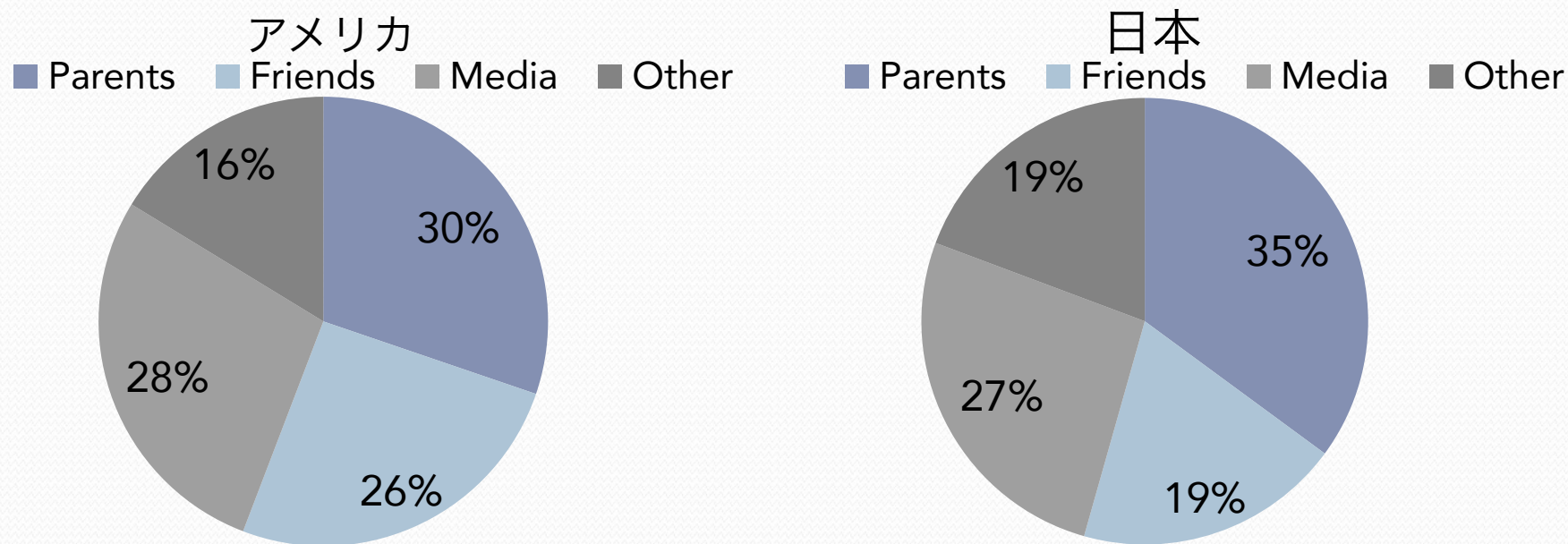
■ American Survey  
■ Japanese Survey

参加者は大抵「メディアを通して混血の人を見ることは重要」と賛成したが、「私は自分と同じような民族性と人種を持つ人を尊敬する」という質問には中立的です。



# 要因

「あなたの人種、民族に対する意見や考え方は何に基づいていますか？」



両方のアンケートでたくさんの方は「その他」とセクションで「全部」と言う答えをした。他の答えは「自分の海外生活の経験」、「これまでの価値観」、「本」などだ。

# 要因

「自身の民族性と人種がメディアで取り上げられた時に一番強く思い出すことを書いてください。」

## アメリカ人

「中国人にとってジャッキー・チェンとブルース・リーはカッコいいイメージをするけど、私と見ると中国人じゃなく人は私はカンフーをしてると思った。」  
(女性, 52歳, 単一民族).

「私の民族はメディアであまりないと思います。でも、自然災害の時フィリピンはいろんなニューステレビ番組で見られます。」  
(女性, 19歳, 混血)

「'black twitter' はいつも白人はまったく違う存在として見られることがある。そのTWITTERは白人は学校で人を撃つうすとかいじめする人を殺すということを定期的にする。私はいじめされていたけど、そのこと絶対やりたくない。」  
(男性, 22歳, 単一民族).

「Benicio Del Toro という俳優がすごく好きです。その俳優は様々なアワードをもらったから、ヒスパニックの人はやっぱり成功ができます。」  
(男性, 55歳, 単一民族).

## 日本人

「テレビでモデルだけじゃなくて、ジャーナリストのハーフ人を見て、私はとても喜びました。ハーフはモデルだけじゃないと確認しました！」  
(女性, 28歳, 混血).

「トルコのことメディアに取り上げられたときは懐かしい気持ちになる。また、他にも難しい立場にあるときはその対策を日本より親身になって考えることがよくある。」 (女性, 20歳, 混血)

「ジブリ作品「風立ちぬ」で特攻兵が零戦に乗り、並んで飛んで行くシーンを見て、悲しさや誇りや勇気など色んな感情が湧きました。」  
(男性, 23歳, 単一民族)

「日本人についてのテレビ番組で、日本人の性格について外国人が話していた。特徴として、謙虚、思いやりがある、消極的と言われていた。」  
(男性, 26歳, 単一民族)

# 研究質問2のまとめ

- 日本人とアメリカ人は多様な人種と民族に好意的な印象を持っていると思いました。そして、単一民族人と国際児（混血人）も同じ気持ちを持っていた。
- 現在、参加者は一般的に多文化主義について好意的な印象を持っている。
- 一つの大きな要因はメディアですが、一番大きい要因は個人的な関係だ。例えば、両親とか友達は大きいな影響だ。

# 結論

---

- 日本人は多文化主義についてオープンな考え方がないと期待されるものの、違うと分かった。そして、時々アメリカ人よりオープンな考え方を持っていると分かった。
- 混血でも単一民族でも、両者ともステレオタイプと差別を受けたことがある。
- 確かに、アイデンティティーを見つけることについてメディアは大きな影響を持つが、一番強い影響は人間関係である。

# 研究の限界

---

- 大多数に日本人の参加者は混血ではなかった。

# 将来の研究

---

- もっと多くのインタビューをしたい。
- もっと多くの混血児とアンケートをあげてたかった。

# 参考文献

- 理恵, 河. (2006, July 26). 大学院授業「日本人論と日本事情」におけるアイデンティティ概念. Retrieved October 14, 2014.
- N, T. (2001). The Diversity of Biracial Individuals: Asian-White and Asian-Minority Biracial Identity. In *The sum of our parts: Mixed-heritage Asian Americans*. Philadelphia: Temple University Press.
- Aoyama, E. (2009, May 6). Marginalization and Veneration: The Contradictions in Perception of Japanese Biracial Celebrities. Retrieved October 14, 2014.
- Navidi, N. (2010, June 22). 'Hafu' draws viewers into world of Japanese identity. Retrieved October 14, 2014.
- マーフィ重松, S. (2002). アメラジアンの子供たち: 知られざるマイノリティ問題.
- Emmott, B. (1993). *Japanophobia: The myth of the invincible Japanese*. New York, N. Y.: Times Books.
- Haefelin, A. (2012). ハーフが美人なんて妄想ですから!!: 困った「純ジャパ」との闘いの日々. Tōkyō: Chūōkōronshinsha.
- Kawagoe, A. (n.d.). The Ijime Mondai in Japan vs. Worldwide Bullying Problem. Retrieved October 14, 2014.

# 参考文献

- Williamson, D. (2003, October 30). UNC News -- Students of mixed races report suffering more health problems. Retrieved October 14, 2014.
- Arudou, D. (2010, October 5). Census blind to Japan's true diversity. Retrieved October 14, 2014.
- Taki, M. (2003, May 1). 'Ijime bullying': Characteristic, causality and intervention. Retrieved October 14, 2014.
- Nagayoshi, K. (2011). Support of Multiculturalism, But For Whom? Effects of Ethno-National Identity on the Endorsement of Multiculturalism in Japan (4th ed., Vol. 37).
- Ikakiri, M. (2014). いじめ対応とトラウマケア. Management and Trauma Care of "Ijime"
- Aksar, Y. (2004). Implementing Intl Humanitaria: From the AD Hoc Tribunals to a Permanent International Criminal Court. London and New York, NY: Routledge.
- James, M. (2008, May 28). Race. Retrieved March 5, 2015, from <http://plato.stanford.edu/entries/race/>
- Kellner, D. (2011). Cultural Studies, Multiculturalism, and Media Culture. In Gender, race, and class in media: A critical reader (3rd ed.). Thousand Oaks, Calif.: SAGE Publications.

# 参考文献

Die Kreuzungsstelle Column Haafu(Hafu) or Daburu. (n.d.). Retrieved January

29, 2015, from [http://www.kreuzungsstelle.com/HAAFU\\_or\\_DABURU.html](http://www.kreuzungsstelle.com/HAAFU_or_DABURU.html)

Gerhold, P. (n.d.). JapanToday. Retrieved January 29, 2015, from <http://www.japantoday.com/category/lifestyle/view/the-top-10-words-to-describe-japanese-people-according-to-foreigners>

(Central Intelligence Agency)

<https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/xx.html>

Kikumura Yano, A. (2008, January 1). Contemporary Issues Facing Japanese American Communities. Retrieved March 13, 2015, from <http://www.discovernikkei.org/en/journal/2008/2/14/copani-knt/>

Fulbeck, K. (n.d.). The hapa project. Retrieved March 23, 2015, from <http://kipfulbeck.com/the-hapa-project/>



# 感謝の意

- 関根先生
- 齋藤先生
- 裕美先生
- 中本・菜穂子
- 佐伯・佳和
- 玉山・明
- 川田・伸一郎
- クレア・手島
- 404 のクラスメイト